



## 社内の防災対策について

### ◇役割とルール

災害の時には、誰がどうするのか、役割を決めましょう。避難場所の確認や防災訓練を定期的に行いましょう。

#### ■非常用食料や飲み水は、最低3日分を準備！！

災害が発生すると、ライフラインをはじめ、食料などの流通がしばらく途絶えることがあります。数日間は何とかなる備えを、社内でも行いましょう。

#### ■社員の分担を決めて災害対応マニュアルを作る！！

企業の業種や規模、不特定多数の人が良く出入りするのかどうか、といった事業場に合わせた災

### ◇安全対策のポイント

#### ■棚、OA機器、備品の転倒防止！

建物に被害がない場合でも、備品の落下・転倒はパニックを誘い、避難を妨げたり、怪我の原因になったりします。

#### ■ガラスの飛散防止！

ガラスの落下・飛散は、思わぬ怪我の原因となります。

#### ■停電時の対策！

懐中電灯だけではなく、発電機や、非常用の電灯(非常用電源、非常用照明など)を準備しておきましょう。

#### ■整理整頓！

- ・職場の出入口、非常出口の周りに物を置いていないか
- ・コンセントや電源のコードを床にむき出しで置いていないか
- ・棚の上を荷物置き場にしていないか
- ・通路にいらぬ物、余計なものが置いていないか
- ・消火器は所定の場所にあるか、消火器の周りに物が置いていないか

### ◇社員と家族の安全

#### ■家族や社員との連絡方法を決めておこう！

家族や社員の安否確認ができないと、大変気がかりです。災害時伝言ダイヤル「171」を使って家族や社員の安否確認をどのように行うか、ルールを決めましょう。

#### ■自分の安全は、自分で守る！

交通機関の停止に備え、徒歩で帰宅する順路を予め地図で確認しておきましょう。危険箇所なども確認して、帰宅防災マップを作り、職場に置いておくと安心です。

### ◇帰宅困難時のポイント

- 徒歩で帰らなければいけなくなった場合に、スニーカー、携帯ラジオがあるとGOOD！会社のロッカーの片隅に入れておきましょう。
- 帰宅防災マップを買うか、自分で作りましょう。
- 夏場はタオル、冬場はカイロを準備しておきましょう。
- 地震が発生した時の連絡方法や集合場所を家族で確認しておきましょう。

オフィスにおける防災対策は、職場で対応しておくべきことと、個人で準備をしておいたほうが良いことがあります。まずは、職場での災害に対する対応方法を確認し、その上で、個人がとるべき対応、行動を確認すると良いでしょう。